

「堅実経営」と「誠実施工」を信条に、総合



株式会社 奥村組
代表取締役社長

奥村 太加典

「働き方改革」の実現で 持続的な成長を目指します

2017年度のわが国経済は、一部に弱さが見られたものの、企業収益の改善を背景とした内需の下支えなどにより、緩やかな回復基調で推移しました。そのような中、建設業界においては、公共投資の底堅さや企業における設備投資の復調を受け、安定した経営環境が続きました。

その一方で、わが国は少子高齢化が進展しており、建設業界においても生産年齢人口の減少ともなう人手不足が深刻化しています。建設業が担う、防災・減災対策や老朽化インフラの維持管理・更新など、地域の安全・安心の確保や生活環境の向上という社会的な役割を果たしていくためには、将来を担う人材の確保が喫緊の課題となっています。そのため、建設業界全体で長時間労働の是正や生産性の向上といった「働き方改革」を推し進め、建設業の魅力を高めることで入職者を増やしていく必要があると考えています。

当社におきましても、魅力ある職場を目指し、2021年度の創業115周年に向けたアクションプラン「OKUMURA LIFE WORK PLAN 115」を策定し、業界の取り組みと協調して働き方改革を推進しています。同プランの目標は工事所の週休二日と労働時間の削減であり、業務効率化などの具体的な施策を展開して段階的に実現していく方針です。また、フレックスタイム

ム制度を拡充して社員の多様な働き方を可能とするなど、ワーク・ライフ・バランスの向上に努めているほか、女性の活躍に向けた取り組みや福利厚生の充実も推進しており、すべての社員が生き生きと活躍できる職場環境の整備に努めています。

これらの「働き方改革」への取り組みが社員一人一人の活躍と若い担い手への魅力につながり、ひいては当社グループの持続的な成長につながるものと考えています。

人と地球に優しい環境の創造と 保全を目指します

2015年に国連サミットで持続可能な開発目標(SDGs)が採択されました。SDGsでは国際社会が直面しているグローバルな課題に対処するための普遍的な価値観が示されています。地球環境課題についても包括的な目標が掲げられており、今後の世界的な活動方針として注目されています。

当社におきましても「人と地球に優しい環境の創造と保全を目指す」という基本理念のもと、2017年度を初年度とする「環境中期計画2017」を推進しており、CO₂排出抑制、建設副産物の発生抑制など環境負荷の低減に取り組んでいます。さらに、脱炭素社会に貢献する省エネ技術の開発を推進し、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の普及に取り組むなど、引き続き地球環境に優しい経営に邁進していきます。

建設会社としての社会的責任を全うします

中期経営計画(2016~2018年度)の 総仕上げに向けて

当社グループは2016年度を初年度とする中期経営計画を実行しており、堅調な事業環境と相まってその成果が徐々に表れてきていることから、2017年度の業績は目標を大きく上回る事が出来ました。しかしながら、中長期的には新設の建設投資の抑制や建設業の担い手不足などの影響で当社を取り巻く環境が厳しくなることも予測されますので、先を見据えた取り組みを着実に進めていく必要があると考えています。

そのような中、昨年度は、ICTを活用した生産性向上などの施策に加え、今年1月に開催された大阪国際女子マラソンの協賛を行うなど、新たな試みにも挑戦しました。女性の活

躍を応援し、盛り上げようという当社の姿勢に対しては好評を頂いており、ブランド力の向上にも一定の効果があったものと考えています。これら現行の中期経営計画の取り組みを将来へ向けた基盤とし、2019年度を初年度とする新たな中期経営計画へとつなげてまいります。

当社グループはこれからも、「堅実経営と誠実施工」を信条に、社会から必要とされ続ける企業として、社業の発展を通じ広く社会に貢献することを経営理念に掲げ、企業価値の向上を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、当社のCSRレポートをご一読いただき、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

2018年10月

社長方針

経営理念のもと、すべての事業活動を通じて、社会・顧客に信頼・満足・安心を提供し、社業の発展を目指す。そのためには、経営上の最重要課題である中期経営計画の達成が必要不可欠であり、「事業環境の変化を見据え、建設事業の収益力強化および事業領域の拡大に向けて経営資源を投入し、強固な経営基盤を築く」ことを基本方針に据えて、建設事業の生産力向上やブランド力アップ、収益基盤の多様化に向けた施策を展開していくとともに、あらゆる取り組みのベースとして次の活動を推進する。

1. 安全衛生面では「人命尊重」を基本とし、全従業員一体となって、快適な職場環境の形成および労働災害の防止に努める。
2. 品質面では「顧客満足(CS)」を基本とし、品質管理の徹底とともに、顧客のニーズに即した製品、技術、サービスの提供に努める。
3. 環境面では「人と地球に優しい環境の創造と保全」を基本とし、環境汚染の予防、環境負荷の低減および環境の保全に努める。
4. 内部統制の面では、マネジメントシステムの継続的な運用・改善により、事業活動にともなうリスクを管理するとともに、業務を効果的かつ効率的に遂行する。
5. コンプライアンスの面では、企業行動規範を踏まえて、法令はもとより企業倫理に則った事業活動を推進する。
6. 労働環境面では、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指し、働き方改革を推進する。

全役職員は、この方針に基づき、自らの果たすべき職務あるいは責任に即した目標を設定し、主体性をもって達成に努めるものとする。

中期経営計画(2016~2018年度) ~揺るぎない収益基盤の構築に向けて~

中長期ビジョン

健全な財務内容を維持しつつ、高収益体質を追求して資本効率の向上を図ることにより、中長期的な企業価値の増大を目指す

連結ROE 5%以上

配当方針 財務状況等を総合的に勘案して、かねてよりの安定配当1株あたり45円または業績に対応するものとして配当性向(個別)が50%に相当する額のいずれか高い方を配当し、併せて、自己株式の取得を機動的に実施する

基本方針

事業環境の変化を見据え、建設事業の収益力強化および事業領域の拡大に向けて経営資源を投入し、強固な経営基盤を築く

施策の骨子

- 1 建設事業の生産力向上
- 2 建設事業のブランド力アップ
- 3 収益基盤の多様化